

- 発行
青笹町地域づくり連絡協議会
- 編集
青笹地区センター

令和2年7月16日発行

『これから』の青笹町を考える “あおざさ未来アシスト委員会” が始動しました

現在市が進めている、来年4月からの「地区センター業務の指定管理者制度（※注1）への移行」を見据え、町で受ける際に主体となる組織や、青笹町における地域づくり事業の今後を検討する「あおざさ未来アシスト委員会」を組織し、6月30日（第1回）、7月9日（第2回）に委員会を開催しました。

（※注1）地区センター業務の指定管理者制度とは

市で運営費用を支払い、今後は地域で地区センターを管理・運営するよう市が進めています。業務の受け手側は現在の「地連協」を想定しており、地区センター職員も地域が雇用し「施設管理運営・地域づくり支援・市民協働事業・社会教育事業」などを業務として請負います。地区センターの管理運営について地域の自由度は増しますが、運営主体として求められる地連協の責任は大きくなります。



第1回委員会内容（6月30日開催）

委員長には菊池昌弘さんが互選され、副委員長には佐々木千友さんが指名されました。最初に各団体から推薦された委員の顔合せも兼ねて、事務局から概要説明や示されているスケジュールを説明しました。その後、参加した委員からは活発な質問や意見が出され非常に活気のある会議になりました。また、各団体についてはイベントに追われ疲弊している部分もある事から事業の見直し・スリム化の検討や事務局体制の構築についてもお願いしました。

第2回委員会内容（7月9日開催）

市民センター地域づくり応援室から松田室長をお招きし、仕様の内容や先行地区の土淵町（今年9月～移行予定）の状況を説明いただきました。その後疑問点などの質疑応答を行い、市で示しているスケジュールや地域で負うリスクについての詳細などを確認しました。

協議では、新組織の名称は当面「地域づくり連絡協議会」のまま決め、法人税・消費税の申告も発生する事から、将来的には別組織を立ち上げての受託も検討していくことを確認しました。

＜次回委員会は7/21（火）開催。その後も月2回のペースで開催する予定です。＞

イベント・行事等の中止(延期)について ~お知らせ~

中止 ◆青笹町民野球大会（例年7月下旬） … 今年度は**中止**となりました

中止 ◆各町対抗ソフトボール大会（市大会：例年8月下旬） … 今年度は**中止**となりました

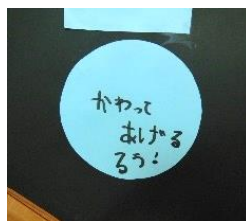
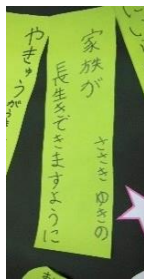
～ 青小だより ～

～星への願いとあったか言葉の花火～



7月7日の七夕の日、青笹小の多目的ホールにとっても大きな花火が打ち上がりました。これは、全校の子ども達が書いた「七夕さまへのお願いの短冊」と、「あったか言葉」（中心や外側の円形のメッセージ）を組み合わせで作った花火です。

児童会執行部が中心となって計画し、最後の貼り付けは6年生が行いました。縦が約2m半、横の長さが9mの巨大な作品です。（田村先生が集めてくれた遠野の風景や、6年生がちりばめた星も光っています）一人一人の「短冊」や「あったか言葉」を見ると、青笹小の子ども達が本当に優しい気持ちをもっていることが分かります。



ちりばめられた「あったか言葉」

～ 3年生 校外学習～



7月9日（木）、3年生は社会科の校外学習でビックハウスの見学に行きました。わたしたちの暮らしに深く結びついているお店には、どんな工夫や秘密があるのかを調べてきました。

普段は入ることができない店長室や倉庫の中に入れてもらいました。小型のフォークリフトを動かして荷物を運ぶ体験もさせてもらいました。そして、商品が種類ごとに分けて置かれていることや、休みの日には2000人も人が来店することなどを学ぶことができました。教科書だけでは学べない、貴重な体験でした。